

「塩を運ぶロバ」という話を知っていますか。イソップ物語の一つです。

あるとき、塩を背中に積んで運んでいたロバが、川を渡る途中で、滑って転んでしまいました。

塩は、水に溶けて背中の荷物は、軽くなりました。

喜んだロバは、今度は、綿を運んでいる時にまた身軽になろうと、わざと川で転んだのです。すると、綿に水がしみ込んで重くなり溺れてしまったのです。

この話から私は、怠けて、楽をしようとするれば、最後は自分が損をしてしまうと思いました。

皆さんもこれから、苦しいこと、つらいことがあるかもしれません。先生に注意されたり友達とけんかして悔しい思いをしたりする時があるかもしれません。

しかし、それらのことは、皆さんが大きな人間に成長していくための荷物といえます。

冬の次に必ず春がくるように、悲しい時の後には、必ず楽しいこと、うれしいことがやってきます。

苦しいこと、つらいことなどの困難に対して、逃げるのではなく、乗り越えることができる子になることを願っています。